



## 情報通信技術 (ICT) とは「くに」をデザインするツールである

総合通信基盤局電波部移動通信課  
新世代移動通信システム推進室課長補佐  
併任 総合通信基盤局電波部移動通信課  
高度道路交通システム推進室課長補佐

**高橋 信一郎** TAKAHASHI Shinichiro

平成 22年 4月 総務省採用  
同 総合通信基盤局電波部移動通信課  
平成 24年 8月 同 大臣官房総務課  
平成 25年 7月 同 情報通信国際戦略局情報通信政策課主査  
平成 27年 8月 国土交通省道路局道路交通管理課高度道路交通システム推進室  
情報システム係長  
平成 29年 7月 総務省総合通信基盤局電気通信事業部電気通信技術システム課  
課長補佐  
令和 元年 7月 横浜貿易経済部創業・新産業支援課 YRP研究開発推進担当課長  
令和 4年 8月 現職

### 総務省 (情報通信分野) の仕事・やりがい

朝起きて、スマートスピーカーで天気を確認。朝食を摂りつつスマホで新聞記事などをチェック。そのまま自宅パソコンを開いてテレワーク勤務。会議はオンラインで参加、などなど…日々の生活を振り返っても、今や情報通信技術 (ICT) が当たり前のように浸透していることが分かります。

私が入省した2010年頃のデータを振り返ると、スマホの普及率が10%未満で、SNS利用率も10%前後だったとのこと…現代からしたらとても信じられませんね。

このようにICTの進歩は非常に早く、5年後、10年後の未来を想像することすら難しいですが、その進歩に順応して政策立案をすることが総務省 (情報通信分野) の仕事であり、ここでしか味わえないやりがいだと思います。

### 総務省 = 政府版ICTコンサル?

私は現在、自動運転はじめ道路交通システム関係の通信政策を担当しています。道路交通システム×ICTの歴史は古く、その歴史ゆえに、関係省庁、自動車業界をはじめ多くのステークホルダーとの連

携・調整が欠かせません。まさに、業界の橋渡しの役割が求められており、「ICTをどう活用したら課題解決に繋がるか」を日々考え、提案し、議論しながら具体化していくというプロセスを繰り返しています。

ややもするとコンサル企業やSIerの仕事のように聞こえるかもしれませんが、私自身は総務省 (情報通信分野) の業務の本質は「政府版のICTコンサル」ではないかと考えています。

### 就職活動中の皆さんへ

このパンフレットをご覧になっている皆さんにとって、私のような技術系行政官という働き方はあまり馴染みのないものだと思います。でも安心してください、かく言う私も、就職活動を始めた頃は「技術的背景を生かしてデカい仕事ができる」くらいの認識でした。実際の仕事は、ICTの進歩に順応しつつ柔軟な発想で新たなアイデアを提案する、という非常にやりがいのあるものなので、本書を読んで少しでも興味が湧いてきた方は、是非とも総務省の業務説明会等にご参加頂けると幸いです。



休日には子どもとのスポーツを通じて息抜きしています

### 10年後のより良い世界に向けて

10年後の世界はどのようになっているでしょうか？

今から10年前、大学生だった私は初めてスマートフォンを買い、コミュニケーションの取り方、ニュースやコンテンツの消費スタイルが大きく変わったのを覚えています。それから10年、インターネットに流れるデータは10倍以上になり、スマホを使って動画を見たり、買い物をしたりと、生活様式は大きく変わってきました。こうした変化の中心には情報通信技術があります。発展する技術が社会の中で適切に使われていくためには、そのためのルールが不可欠であり、未来を考えながらそのルールを形にするのは私達の大きな仕事の一つです。

### 電波の国際ルール作り

何気なく使われている電波ですが、安定した通信を行うため、周波数毎の利用方法等が定められています。更に電波には国境はありませんので、国際的にもルールがあります。新たなサービス実現には、まずこの国際ルール改正が必要ですが、世界の国々に納得してもらうためその道のりは長く、10年先の

未来を見越して着手する必要があります。

昨年、電波の国際ルール改正のための4年に一度の会議がドバイで行われ、私も参加しました。会議は1か月以上にわたり、世界から3900名以上が集まる大規模なものです。

将来の生活を一変するかもしれない技術の最先端に触れつつ、日々刻々と状況が変化の中で様々な案件について情報を集め、分析し、戦略を練ったうえで、他国との調整を実施することは非常に刺激的な日々でした。

### 情報通信×公務員という働き方

総務省技術系の強みは、情報通信という専門分野を持ちながら、公務員としての幅広いフィールドで働けることです。私自身、これまでに6つの部署を経験していますが、いずれも情報通信が関わっています。電波や通信システムに関する知見を貯めつつも、関与する角度はフィールドによって大きく変わるので、日々新たな刺激を受けつつ成長を実感できます。

情報通信分野は、世代が変われば「常識」が異なるため、新しい技術に対する理解・興味次第で若いうちから仕事に深く関わられます。皆さんも、総務省で一緒に情報通信が描く未来の社会を考えていきませんか。



ドバイでの国際会議



休日に同期とエンジョイゴルフ

## 情報通信で描く未来のカタチ

総合通信基盤局電波部電波政策課  
国際周波数政策室課長補佐

**林 祐二郎** HAYASHI Yujiro

平成 28年 4月 総務省採用  
同 情報通信国際戦略局技術政策課  
平成 30年 8月 同 総合通信基盤局電波部電波政策課国際周波数政策室  
令和 元年 7月 同 総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課移動通信係長  
令和 3年10月 国土交通省道路局道路交通管理課高度道路交通システム推進室  
自動走行システム係長  
令和 4年 7月 総務省総合通信基盤局電気通信事業部電気通信技術システム課  
番号企画室課長補佐  
令和 5年 4月 現職

